

# ザンビアダイアリー



にほん きこく わたし ビフォア アフター  
日本へ帰国！② 私のクロスロード「BEFORE/ AFTER」

## [BEFORE]

福島県の田舎で育った私にとって、世界を知るには、学校に来る英語の先生やテレビ番組しかありませんでした。中学生のときに、海外に行ってみよう、世界のこともっと知ってみたいと思い始めました。大学生のときに、子どもを笑顔にしたり、人の応援をしたりすることが自分にとってうれしいことだとわかりました。自分がやりがいを感じることで、興味があることを考え、協力隊の経験を積んでみたいと思いました。実際に、途上国を旅して、学校を見学してきたり、子どもたちに指導したりしながら、自分の思いを確かなものにしてきました。大学卒業後は、公立小学校で働き、教育の経験を積んできました。

## [AFTER]

コロナのため、7月の帰国予定よりも早い3月に帰国してきました。活動をしっかりと終えることができず、子どもたちやお世話になった人にお別れもできませんでした。帰国してきてからも、子どもや国際協力に関わっていきたいという思いをもっていました。うれしいことにザンビアに行く前にお世話になったJICAの施設で、働くことになりました。海外や日本のことについて、学校や地域の人と一緒に考え、楽しく学んでいく仕事です。新しい場所で、色々な人と関わりながら、自分を成長させていきたいと思います。



これまでザンビアダイアリーを読んでいただき、本当にありがとうございました。  
興味をもって読んでくれたみなさんに、これまでのお便りでは伝えられないお話がたくさんあります。  
どこかでお話しできる日が来ることを楽しみにしています。トラボナナ（さようなら）！！



発行：JICA 海外協力隊 大澤 明浩

2018年7月～2020年7月 チャールズルワンガ初等学校/ モンゼ/ ザンビア共和国